

益田市飯浦地区アワビ増殖団地調査

1. 目的

昨年ひき続き、人工礁へのアワビ付着状況を調査する。

2. 調査期日

昭和59年4月10日

3. 調査員

鹿島浅海分場 勢村 均・由木雄一・石田健次

4. 概況

水深2-5mにかけて、灘側に三脚ブロック、沖側に三角ブロックが設置されている。ブロック間にはところどころ天然礁が存在する。

5. 調査方法

人工礁区域内に観察点を決め、各点3ブロック(st.1のみ5ブロック)についてアワビの付着数、付着部位を観察し、後、50cm×50cmの方形枠で、各点1カ所坪刈りを行なった。

調査当日は透明度が悪く、沖側の三角ブロック帯は1点しか観察が行なえず、図1に示す。計4点となった。また、クロアワビを9個体採集して肥満度を測定し、昨年との比較を行なった。

6. 結果

a. アワビ発見数(表1)

発見したアワビはすべてクロアワビであり、発見数はst.1, 0.4個体/ブロック, st.2, 0, st.4, 0.33個体/ブロックであった。殻長は8-13cmの間であった。付着位置はブロック上、下面に1個体ずつ、側壁に2個体であった。

b. 植生(表2)

現存量は680g/m²から2500g/m²

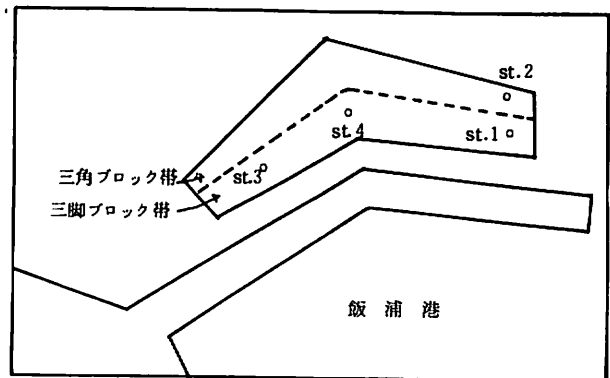


図1 観察点

の間にあり、優占種はホソバナミノハナおよびワカメであった。

c. アワビ肥満度 (表3)

平均0.1287であった。昨年同時期の肥満度は0.1180 (殻長10cm以上)であり、今年は昨年より若干高かった。

d. その他生物

サザエは st.1, 1.2個体/ブロック, st.2, 1個体/ブロック, st.3, 0.67個体/ブロック, st.4, 0.67個体/ブロック発見された。トコブシは st.3 で1個体/ブロック発見された。

表1 海藻類坪刈り査定結果 (g/m²)

St.	1	2	3	4
ホソバナミノハナ	220	160	580	680
タンバノリ	100	40		
アミシグサ	20	80	20	
ケハネグサ	40			
ソゾ類	+			+
ワカメ	2,120	420	1,200	
シワヤハズ			+	
ウスバノリ			40	
フトジュズモ				+
フクロノリ			+	
合計	2,500	700	1,840	680

表2 潜水観察結果

St.	水深 (m)	クロアワビ	サザエ	トコブシ	観察ブロック数
1	4	9cm×1 (側面) 8cm×1 (上面)	6個	0	三脚ブロック 5個
2	4	0	3個	0	三角ブロック 3個
3	4	10cm×1 (側面)	2個	1個	三脚ブロック 3個
4	3.5	13cm×1 (下面)	2個	0	三脚ブロック 3個

表3 アワビ肥満度

採集地区名：飯ノ浦

採集年月日：S 59. 4. 10

No.	殻長 (mm)	殻幅 (mm)	殻高 (mm)	全重量 (g)	肥満度	性別		生殖腺 色調	足色
						♂	♀		
1	138.5	101.0	30.3	386.3	0.1454		○		みどり
2	100.3	71.5	22.4	121.1	0.1200				だいたい
3	80.3	65.7	21.2	103.0	0.1989		○		みどり
4	92.5	65.1	20.0	84.3	0.1065				だいたい
5	84.6	61.2	15.9	70.4	0.1163		○		だいたい
6	129.7	92.9	27.9	289.3	0.1326				だいたい
7	92.0	67.8	19.3	97.1	0.1247				だいたい
8	113.4	77.9	20.8	167.6	0.1149				みどり
9	109.8	77.0	22.4	131.1	0.0990				だいたい

$$\text{肥満度} = \frac{\text{重量 (g)}}{\text{殻長 (mm)}^3} \times 1,000$$

$$\textcircled{M} 0.1287 \pm 0.0296$$